

I. イントロダクションと前回までの復習

1. 聖書の全体構造理解の大前提 ※スライド参照

(1) ディスペンセーションリズム

定義『神の計画が進展していく過程において出現する明確に区分可能な神の経綸(時代・時代区分)』

- ①聖書を字義通りに解釈
- ②『イスラエル』と『教会』という言葉を一貫して区別
- ③神がユダヤ民族とアブラハム契約を結ばれたこと。
*それが永遠の契約であることを認める。
- ④歴史を貫くテーマは「神の栄光」
- ⑤漸進的啓示の理解も重要
*神からの啓示は、一時(一挙に)にではなく、漸進的(徐々に)に与えられた。
*神は、徐々に(歴史と共に)啓示を与え黙示録に至った。
*創世記から黙示録まで1500年かかった。その完成体が聖書。
*神の計画の進展とは、神の視点から見たディスペンセーションの移行のこと。

2. イントロダクション

(1) 神のご計画の全貌(全体構造)を再確認 ※チャート参照

- ①聖書の始まり(創世記1:1)と終わり(黙示録21~22章)の確認
*天地創造 → 新天新地、新しいエルサレム、神の栄光、永遠の秩序
*神の計画の進展とは、神の視点から見たディスペンセーションの移行のこと。
- ②2つのエデンの園の回復の確認
*サタン墮落前のエデンの園以上の回復 → ?
*人類墮落前のエデンの園以上の回復 → ?
- ③黙示録の学びの範囲と当日の学びの範囲の確認

(2) 終末論の全貌(全体構造)の再確認 ※チャート参照

- ~黙示録の中心テーマはキリストの再臨(19章)~
- ①ヨハネが見た事:1章
 - ②今ある事:2~3章
 - ③この後に起こる事:4~22章
*再臨がクライマックス:19章
*再臨までのプロセス:4~18章
*神の栄光がゴール:21~22章

(3) 「ヨハネの黙示録」の目次構造全体を再理解 ※チャート参照

上記(2)と同様の構造を目次にて確認

3. 1章のポイント ※スライド参照

(1) 1:1 「イエスキリストの黙示」

Rev1:1 イエスキリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。

- ①ヨハネの黙示録というが実質的にはキリストの黙示(開示・啓示)である。
- ②キリストが教会に宛てた最後のメッセージ(手紙)である。

(2) 1:7 「黙示録のテーマ」

Rev1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。

- ①再臨とそのプロセスが黙示録のテーマである。

(3) 1:19 「黙示録のアウトライン」

Rev1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。 ※イントロ(2)(3)のこと

4. 2章のポイント: 7つの教会の意味: 3つの神学的意味

(1) 7つの教会とは、ローマ時代の小アジアにあった実際の地域教会 ※チャート参照

- ①7つの教会には、地理的なつながりがある
- ②エペソから始まり、ラオデキヤで終わる北から南東への半月形の順

(2) 7つの教会とは7つの型(要素)である ※チャート参照

- ①紀元1世紀に存在していた7つの教会は、今日の教会の7つの型
 - *どの時代でもこの7つの型(要素)は存在していた
 - *7つの教会が抱えていた問題は、そのまま、今日の教会の問題である
- ②各手紙の内容は、今の教会だけではなく、個人にも適用される
 - *賞賛と叱責は、教会宛て
 - *奨励と約束は、個人(信者)宛て

- ③7つの教会への手紙を学んだ結果出て来る推論(歴史的預言的解釈)である。

(3) 7つの教会は、約1930年の教会時代の特徴を預言的に表している ※チャート参照

- ①教会時代の流れの順番に、その特徴を持った教会が紹介されている
- ②各教会の名前も重要な意味を持つ
 - *褒め言葉しかない教会 2つ ◎
 - *褒め言葉と叱責は 4つ ○
 - *叱責しかないのは 1つ ×

- ③これも7つの教会への手紙を学んだ結果出て来る推論(歴史的預言的解釈)

「サルデスにある教会」「フィラデルフィアにある教会」「ラオデキヤにある教会」
黙3章

II. アウトライン ※スライド参照

1. 本日の学びのアウトライン

- (1) テーマ 11 「サルデスにある教会」黙3:1~6
- (2) テーマ 12 「フィラデルフィアにある教会」黙3:7~13
- (3) テーマ 13 「ラオデキヤにある教会」黙3:14~22

2. 手紙のアウトライン

(1) 7つの手紙に共通したアウトライン

- ①宛先 教会の守護天使宛ての手紙
- ②描写 教会が抱える問題を解決するのに必要なキリストのご性質
- ③賞賛 教会への褒め言葉
- ④叱責 教会への叱責
- ⑤奨励 個人(信者)への問題解決の勧めの言葉
- ⑥約束 個人(信者=勝利者)への祝福の言葉

3. 結論

- (1) 勝利者とは、勝利者への約束とは
- (2) 各テーマ毎の適用ポイント
 - ①テーマ 11 宗教改革時代の教会から学ぶ
 - ②テーマ 12 大宣教時代の教会から学ぶ
 - ③テーマ 13 背教の時代における信者の責務を果たす

このメッセージは、黙示録3章から学ぼうとするものである。

III. 本論

1. サルデスにある教会

(1) 宛先(1節 a)

Rev3:1a また、サルデスにある教会の御使いに書き送れ。

- ①サルデスとは「のがれ出る者」という意味。 **※チャート参照**
*その意味は、「暗黒時代の教会」から分離する者を暗示する。
- ②この教会は、「宗教改革時代の教会」の型。
- ③年代的には、紀元1517年～1648年まで。
*1517年は、ルターがヴィテンベルグ城教会の扉に95ヶ条の提題を掲げた年

(2) キリストの描写(1節 b)

Rev3:1b /『神の七つの御霊、および七つの星を持つ方がこう言われる。

- ①教会の主としてのイエスを表している。
*聖霊(七つの御霊)と7つの教会の守護天使(七つの星)は主の御手の中にある。

(3) 賞賛(1節 c)…教会への

Rev3:1c 「わたしは、あなたの行いを知っている。あなたは、生きていとされているが、

- ①キリストは、この教会のことを、教理は正しいとされたが…
*宗教改革により、回復されたのは救済論のみで…

(4) 叱責(1d～2節)…教会への

Rev3:1d 実は死んでいる。

Rev3:2 目をさましなさい。そして死にかけているほかの人たちをカづけなさい。わたしは、あなたの行いが、わたしの神の前に全うされたとは見ていない。

- ①キリストは、この教会のことを、行動が伴っていない教会と見ておられる。
*特徴は正しい教えを掲げながら、名目的なクリスチャンが多いこと。
*教会は形式主義で命の交流がなく儀式主義、世俗的、政治的組織となった。
- ②宗教改革時代の教会は、ローマカトリック教会から分離した。
*しかし多くが国家教会の地位にとどまった。
*ドイツやスカンジナビア諸国ではルーテル教会
*英国では聖公会
*スコットランドでは長老教会
*スイスでは改革派教会
- ③信者の義務を果たしてはいない。
*今のプロテスタント教会も同じ

(5) 奨励(3節)…個人(信者)への

Rev3:3 **だから、あなたがどのように受け、また聞いたのかを思い出しなさい。それを堅く守り、また悔い改めなさい。もし、目をさまさなければ、わたしは盗人のように来る。あなたには、わたしがいつあなたのところに来るのか、決してわからない。**

①死んだ教会は、再臨や携挙がやって来たとき、それが突然のように思えて驚く。

(6) 約束(4~6節)…個人(信者)への

Rev3:4 **しかし、サルデスには、その衣を汚さなかった者が幾人かいる。彼らは白い衣を着て、わたしとともに歩む。彼らはそれにふさわしい者だからである。**

Rev3:5 **勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。そして、わたしは、彼の名をいのちの書から消すようなことは決してない。わたしは彼の名をわたしの父の御前と御使いたちの前で言い表す。**

①真の信仰に歩んだ者が幾人かいた。

*彼らには、「白い衣」が約束された。それは救い(神の義)を象徴している。

②彼ら勝利を得る者の名は、「いのちの書」に記され、永遠に消されることがない。

*キリストは、彼らを父なる神の御前で言い表して下さる。(黙20:11~12)

*罪びとのままで死んだ人の名は、その書から消し去られる。 **※スライド参照**

Rev3:6 **耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。』**

①勧告の言葉が最後に出て来る。後半4つの教会は同じパターン。

(7) 適用：宗教改革時代の教会から学ぶ **※スライド**

～今は「正統教理の全体回復」と「教理と愛の両輪の調和」を実現させる時代～

①1517年の宗教改革から500年。第二の宗教改革の時代における使命とは。

②救済論はかろうじて回復されたが、まだ回復途上の教理がある。

*イスラエル論 *預言解釈 *終末論

③これら失われた教理(神学におけるミッシングリンク)を回復させるには

※テキスト最終頁参照

*聖書フォーラム運動のモットー：聖書研究から日本の霊的覚醒が

教理(真理)と実践(愛)の両立の実現

*自立への道：教会の病理現象(FATIM)からの脱却

変革(はじまりはヘブル的な聖書解釈から)→外向き→流動→自由→自治

*聖書フォーラム運動の基本理念：「自立と共生」「私たちのABC」

霊的に覚醒した信徒が、「自立・共生」して万人祭司としてご奉仕する時代

2. フィラデルフィヤにある教会

(1) 宛先(7節 a)

Rev3:7a また、フィラデルフィヤにある教会の御使いに書き送れ。

- ①フィラデルフィヤとは、「兄弟愛」という意味。 ※チャート参照
- ②この教会は「大宣教時代の教会」の型。
- ③年代的には、紀元1648年～1900年頃まで。
 - *1648年はヨーロッパ諸国の国際会議の始まりウエストファリア条約締結の年。
 - *神聖ローマ帝国が事実上解体した年。

(2) キリストの描写(7節 b)

Rev3:7b 『聖なる方、真実な方、ダビデのかぎを持っている方、彼が開くとだれも閉じる者がなく、彼が閉じるとだれも開く者がなく、その方がこう言われる。』

- ①宣教の扉を開く主権者としてのイエスを表している。
- ②「ダビデのかぎ」とは、霊的な富(王であるキリストの財宝)の扉のかぎ

(3) 賞賛(8～9節)…教会への

Rev3:8 「わたしは、あなたの行いを知っている。見よ、わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前においておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。」

- ①弱くて小さくても、忠実ならば伝道の門、神への奉仕の門は開かれる。
- ②大宣教時代とは、先駆的な宣教師たちが活躍した時代。
 - *ハドソン・テイラーやアドイラム・ジャッドソンなど
- ③主イエスがだれも閉ざすことのできない扉を開かれた。
 - *1700年～1900年迄の200年間、世界中で宣教師に閉ざされた国々はほぼない。

Rev3:9 見よ、サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しながら実はそうでなくて、うそを言っている者たちに、わたしはこうする。見よ、彼らをあなたの足もとに来てひれ伏せさせ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。

- ①主イエスを拒否したユダヤ人たちは、無意識のうちにサタンの手先となる。
 - *この時代に生まれたモルモン教やエホバの証人などカルト宗教とも読める。
- ②大宣教時代のユダヤ人伝道と異邦人伝道の祝福の約束とみることも出来る。
 - *ユダヤ人伝道はドイツで始まり、英国に根を張り、アメリカで開花した。
 - *1900年には25万人のメシアニック・ジューがいたと言われている。

(4) 叱責(なし)…教会への

- ①スミルナの教会(迫害時代の教会)に次いで、この時代の教会にも叱責がない。

(5) 奨励(なし)…個人(信者)への

- ① 奨励の言葉もなく、ほめられ、約束のことばが与えられているだけ。

(6) 約束(10～13節)…個人(信者)への

Rev3:10 あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。

- ① 大患難時代前の携挙の約束を教えている。
* 試練の時「には」でなく「から」と訳すのが妥当。

Rev3:11 わたしは、すぐに来る。あなたの冠をだれにも奪われないように、あなたの持っているものをしっかりと持っていなさい。

- ① 携挙はすぐに、そして突然来るので、今持っている信仰を持ち続ける必要がある。
* 「すぐに」とは、神の時がきたなら、直ちに成就するという意味。

Rev3:12 勝利を得る者を、わたしの神の聖所の柱としよう。彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは彼の上にわたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書きしるす。

- ① 聖徒の永遠性と高い地位の保証の約束 **※スライド参照**
* 新しいエルサレムでの聖徒の永遠性(比喩的表現 黙 21 : 22～27)
* 地上の神殿やこの町の偶像の宮にある貴族の名が刻まれた柱と比較している。
* または千年王国における高い地位(神の聖所の柱「比喩的表現」 黙 20 : 4)
② 名を記すとは、所有権を表す。名実ともに、神の民、神が所有する宝の民となる。

Rev3:13 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。』

- ① 勝利を得るものだけが、聞く耳を持つということであろう。

(7) 適用：大宣教時代の教会から学ぶ **※スライド参照**

～正統教理を全体回復させた聖書的教会の伝道スタイルとは～

- ① フィラデルフィヤの教会は真実な教会の型
* 聖書の教えに回帰した教会。それでも救済論の回復に留まる。
* 回復途上の教理が回復されたなら、どれほど大きなリバイバルが起こるのか！
* 大患難時代の3つの目的達成のための種まきが始まっていると感じる。
- ② 正統教理を全体回復させた聖書的教会が果たす責務とは
* 異邦人を通してユダヤ人にねたみを引き起こさせ
* 多くのユダヤ人をメシアであるイエスの救いに導くこと。
- ③ ユダヤ人に対する教会の責務
* 福音を伝える『To the Jew first』 ロマ 1 : 16
* 物質的な物を分かち合う ロマ 15 : 25～27
* ユダヤ人のために祈る 詩 122 : 6 イザ 62 : 1～2 イザ 62 : 6～7 ロマ 10 : 1

3. ラオデキヤにある教会

(1) 宛先(14節 a)

Rev3:14a また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。

- ①ラオデキヤとは、「人々が支配する」という意味。 **※チャート参照**
*人々が支配している教会とは、聖霊がない教会、人間中心主義の教会のこと。
- ②この教会は「背信の教会」の型。終わりの時代の教会
*Iテモ4:1~3、IIテモ3:5、IIペテ2:1~22
- ③年代的には、紀元1900年~現代まで。

(2) キリストの描写(14節 b)

Rev3:14b /『アーメンである方、忠実で、真実な証人、神に造られたものの根源である方がこう言われる。』

- ①主イエスの忠実さと真実が強調されている。
*ラオデキヤの教会が不忠実、不真実な教会だから。

(3) 賞賛(なし)…教会への

- ①ラオデキヤの教会(背信の教会)には、ほめことばがいつさいない。

(4) 叱責(15~17節)…教会への

Rev3:15 「わたしは、あなたの行いを知っている。あなたは、冷たくもなく、熱くもない。わたしはむしろ、あなたが冷たいか、熱いかであってほしい。

Rev3:16 このように、あなたはなまぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしの口からあなたを吐き出そう。

- ①生ぬるい飲み物とは、背信の教会の信徒たちのこと。
- ②キリストは、冷たいか熱いかであって欲しいと言われた。
*冷たいとは、信仰に無関心な状態で、熱いとは、信仰熱心な状態。
*生ぬるいとは、この世と妥協し、キリストを心から締め出している状態。
*信仰告白しつつ救われていない人と救われているが霊的成長がない人の両方。

Rev3:17 あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、乏しいものは何もないと言って、実はみじめで、哀れで、貧しく、盲目で、裸の者であることを知らない。

- ①霊的に生ぬるい証拠があげられる。
*背信の教会は、物質的な豊かさに満足し、霊的乏しさに気づかない教会。
*霊的に盲目的な背信の教会に対するキリストの厳しい評価が表れている。

(5) 奨励(18~19節)…個人(信者)への

Rev3:18 わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるために、火で精錬された金をわたしから買いなさい。また、あなたの裸の恥を現わさないために着る白い衣を買いなさい。また、目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい。

- ①通常の金ではなく、火で精錬されても朽ちることのない金
 - *神の義や神に栄光を帰する、まことの信仰のことであろう。
 - *または世に妥協する信仰でなく、世の試練にも打ち勝つ本物の信仰のことか。
- ②霊的裸を隠すための義の衣(真の救い)の象徴。
- ③背信の教会が必要とする目薬とは、聖霊によって与えられる霊的洞察力。
 - *「買いなさい」とは世の富では買えないものなので悔い改めによってそれに与りなさいという意味であろう。

Rev3:19 わたしは、愛する者をしかたり、懲らしめたりする。だから、熱心になって、悔い改めなさい。

- ①キリストの叱責は、愛にもとづくもの。愛がないならこの教会を無視するはず。
- ②それゆえ、信徒は熱心になって、悔い改める必要がある。

(6) 約束(4~6節)…個人(信者)への

Rev3:20 見よ。わたしは、戸の外に立ってたたき、だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もまたわたしと食事をする。

Rev3:21 勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着かせよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに父の御座に着いたのと同じである。

- ①キリストが心に入って下さり、親密な交流に与る。
- ②勝利を得る者とは、キリストの招きに応答し、心にキリストを迎える者。
- ③千年王国での共同統治、共同相続に与る約束(黙20:4) **※スライド参照**

Rev3:22 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。』』

- ①勝利を得るものだけが、聞く耳を持つということであろう。
 - *この言葉が、キリストの最後の勧告のこととなる。

(7) 適用：背教の時代における信者の責務を果たす **※スライド参照**

- ①心の中から締め出していた認識
 - *「キリスト」「御言葉の理解」「正しい福音理解」・・・
 - *自分は、何を締め出していたらろうか？意識的、無意識的？
 - 自由主義神学の教会、エキュメニカル運動の教会・・・
 - 神の視点では、この世と妥協して、生ぬるく役に立たない教会・・・
- ②外から戸をたたいておられる認識
 - *いつでも主は聖霊を通して、私たちが立ち返る様に働きかけておられる。
 - *今ならわかる。聖霊の働きの第一義とは、正しい福音理解と御言葉の理解である。
 - *今ならわかる。心からそれを求め立ち返るなら、必ずそれらに与ることが出来る。
- ③主の声に応答して戸を開く行動
 - *自分は、どのような応答を積み重ねて来たのだろうか？
 - *主の声が届いた思い出の出来事やそれに応答した瞬間などを憶えていますか？

IV. まとめとしての結論：勝利を得る者とは、勝利者への約束とは

1. 勝利を得る者とは **※チャート参照**

- (1) イエス・キリストを神の子と信じる者
キリストの招きに応答し、心に迎えた者
- (2) 私たち信者であり、普通のクリスチャンのこと
- (3) 真の信仰者、妥協を許さない信仰者

2. 勝利者への約束とは **※チャート参照**

(1) サルデスの教会の信者への約束

① 白い衣

*キリストにある救い(神の義)を象徴

*罪を犯したけれども、それを許された者(信者)が着る義の衣

② いのちの書から名がけされない。

*罪人のままで死んだ人の名は、その書からは消し去られます。

(2) フィラデルフィヤの教会の信者への約束

① 大患難時代からの守りの約束

② 神の聖所の柱となる

*新しいエルサレムでの聖徒の永遠性、また千年王国における聖徒の高い地位

③ 新しい3つの名が約束されている

*額の3つの御名。

*さらに受ける者にしかわからない白い石に刻まれた新しい名。

*これは名実ともに、神の民、神が所有する宝の民となるという意味。

(3) ラオデキヤの教会の信者への約束

① 彼のところに入り、ともに食事をする

*キリストの声に応答して戸を開くなら、心の中に入って下さり、親密な交流に与る

② キリストの座につく

*千年王国において共同相続人となり、共同統治に与る約束

3. 今月も神の視点(ゴールから)で今を見つめ、約束された希望を抱いて歩みましょう!

(1) 「永遠の今」という視点で生きる。

最終ゴール(新天新地・永遠の秩序)と今を結びつけて物事をとらえる。

(2) 「未来完了系」の信仰で生きる。

神の約束は必ず成就するという信仰を前提に物事をとらえる。

(3) 「預言的未来」に生きる。

神の恵みにより、必ず約束された未来に到達できるという希望を抱いて生きる。

Rev22:21 主イエスの恵みがすべての者とともにあるように。アーメン。
～そして「聖書研究から日本の霊的覚醒(目覚め)が」ありますように～

モットー 「聖書研究から日本の霊的覚醒(目覚め)が」

・学びと行動の両輪

「教理」と「実践」という二面性は、「真理」と「愛」ということばで置き換えることができます。

「真理」(教理)と「愛」(実践)が調和した真のクリスチャン生活を、ともに目指しましょう!

聖書フォーラム運動の基本理念 「自立と共生」がキーワード。

- ・一人ひとりが、自立していること。
- ・お互いの個性を大切に、一緒に成長すること。

私たちのABC

- ・AIM … 聖書フォーラム運動の目的は、「神の栄光」を表し、求めること。
私たちは、この人生を通じ、神を誉め称えるために創られました。
- ・BASIS … 私たちの土台は、ユダヤ的視点により聖書を解釈すること。
当時の人たちが理解した方法で、聖書を字義通りに理解します。
- ・CONCEPT … 自主性を重んじ、経済的・精神的に自立した
お互い同士、小さなグループ同士が、ゆるやかにつながり合います。

自立への道

- ・教会の病理現象(FATIM)からの脱却
 - ①形式主義(FORMALISM)から自由主義(FREEDOM)へ
 - 1. キリストにある自由 2. 愛を働かせるための自由
 - ②権威主義(AUTHORITARIANISM)から自治(AUTONOMY)へ
 - 1. 自給伝道 2. 自主運営
 - ③伝統主義(TRADITIONALISM)から変革(TRANSFORMATION)へ
 - 1. ユダヤ的聖書解釈 2. 神の国の視点
 - ④内向き志向(INWARD-LOOKING)から外向き志向(OUTWARD-LOOKING)へ
 - 1. キリスト教を世界観としてとらえる。 2. キリスト教を歴史観としてとらえる。
 - ⑤会員志向(MEMBERSHIP-ORIENTED)から流動志向(MIGRATION-ORIENTED)へ
 - 1. 歴史の流れと社会の現状を読む。 2. 自らの動機の再確認。

学んだことをわかちあってください。そしてともに伝道しましょう。



聖書フォーラム
BIBLE FORUM